

… 雨でも休まず：第125回、126回 …

「若柳・嵐山の森」から

- 活動1：森林整備に重点：3月 6日（第一土曜日）
弁当持参、参加費300円
- 臨時：相模原市／消費者生活展：3月13日～14日
JR橋本駅前／サティ6F。沢山の応援求む … 詳細別紙
- 活動2：里山交流の活動：3月21日（第三日曜日）
 - * 主食のみ持参／土地の旨い副菜を準備しておく。参加費500円
森林整備班は、山奥に入る。弁当持参。 … 参加費300円
 - 会員募集／会員以外は、 … 参加費700円。
 - * 春の恒例イベント；お楽しみ：森林庭園の茶会
- ◎ 必ず申込要：ボランティア保険加入など：T&F: 03-3411-1636
- 初参加：JR相模湖駅前：9時15分まで。連絡：090-7260-8101(緑のダム)
- 服装：汚れて良い格好・着替え 足元の滑らない履き物
- 持参品：保険証の写し。作業を楽しむ“ゆとりと怪我をしない心構え”。

森には、沢山の楽しい事がある。

今年最初、1月の定例活動日は、一面の銀世界が我々を迎えてくれた。木の間から差し込む陽の光を受けて零れる粉雪がキラキラと幻想の世界で迎えてくれた。

- ・ 三月 恒例／“森林庭園の茶会”。加藤泰弘仲間が亭主をする。
- ・ 四月 竹の子掘りも考えている。運が良ければ御土産付きだぞ。
- ・ 五月 恒例／“森の中の音楽会：予定／シタール演奏・詩の朗誦
- ・ 六月 「父の日」に当たる。親父は家族を連れておいで。
- ・ 七月 七夕／一泊する。美しくなった夜の森の神秘を体験させる。

以下、八月～十二月／森林仲間皆んな、それぞれに楽しい・嬉しい・ためになる…何か、提案して欲しい。沢山の“森の楽しさ”を沢山の人々に知らせる事が荒れた森の再生・保全に繋がる事を知ったじゃないか。森林の楽しい・嬉しい・面白いためになる多様性を皆んなで創ろうじゃないか。

活動報告1：森林整備に特化の日

第一活動日／2月7日（第一土曜日）

年間で最も寒い時期のこの日、強風、快晴、7度、
26名参加。

作業1：協力協約C地区の仕上げ追い込み。枝打ちの進んだ森は、随分と明るい。時事通信社の佐藤記者が取材に来たが、取材そっちのけで作業を楽しんでいた…ように見えた。

本当の所、森林の現場活動を知らずして良い記事が書ける訳がない。どうかすると電話取材なんて馬鹿な申出もくるが断る事にしている。実際の森を知らず何が分かるものか。

作業2：兼松仲間が昨年11月に切ったこの森で「新月の木」を使って家の建替え計画を進めており、その伐出作業を仲間4人が手伝った。

兼松仲間は女性らしく間伐材の木端（こっぱ）で人形も作るが、自分で大木を切ってそれで家を建てるとは、恐れ入った。それも1Fは、県産材製品の展示室にするらしい。その本気や良し。

明るい雰囲気のある初参加の若い寺門さんと時事通信社の佐藤記者は、最後の最後まで、運営会にもカドヤ会議にも付き合ってくれた。当会の活動には、たまに大阪や北海道などからも参加があるが時事通信社は全国に配信しているから当会の名は、いよいよ全国版になる気配。と言う訳で佐藤記者には作業もなるべく、きつ~い仕事をサービスし、カドヤ会議では“割り勘”で大いに飲ませた。

活動報告2：協力協約A地区の材搬出：第二活動日／2月15日

昨日、春一番が吹いたが今日は穏やかな快晴。緑のダム体験学校を含む56人の参加。午後、桂川相模川流域協議会のツアー&ウォッティングが視察途中に立ち寄ってくれて賑やかな活動となった。

“この森の木を活かす／FSC活動”的一環として「協力協約のA地区」の伐倒木を林道まで出すに作業は、この日参加の過半数を越す森仲間が参加した。

特筆すべきは、東急グループの未だ、うら若き山本昌子仲間の気



合いの入った猛馬力。4m玉切り・250kgを越す檜丸太にロープをかけて山本女史の「エイヤー～」の掛け声に押されて森林整備班は、“エイショエイショ”で三十数本を車の入る林道まで出した。

お昼、加藤恭弘仲間差し入れの麺を使った「長崎チャポン風」の昼飯は旨かった。飛び入りの流域協議会の人達もこれに参加して「旨い旨い」を連発した。今年の新年会で「鍋奉行班」を全員表彰したが早速、効果現る。

終礼の園田総隊長の評価は、「本日の成果は、山本昌子の働きを最大とする。今後、このような作業の旗振りは山本とする」に大きな拍手。思いがけない人が思いがけない能力を發揮するが、自由に自己表現できる事にもボランティア活動の面白さである。

● 同日、「桂川・相模川流域協議会」を森に案内

両県の県知事肝煎りで出来た山梨県(駒)・神奈川県(櫻)を繋ぐこの会の森林部会が活動現況を探していると聞いたから当会のフィールド内にある「弁天橋キャンプ場」を紹介した。

当朝、相模湖駅に親子2組を含む31人が集まりノンビリ歩きで甲州古道を通って小原本陣経由で相模渓谷へ下り、弁天島を経て弁天橋に案内した。

弁天橋キャンプ場で少し早めの昼食を取り、売店横手の緩やかな杉大木斜面ボサ刈りを体験。森林ボランティア活動とした。参加者殆どが初めての森林作業体験だが、大木に絡まる蔓切りや根籠の切り取りで森が見る見る美しくなって行く“目に見える成果”に全員夢中になって取り組んだ。

最後のミーティング感想では、小学校で丁度、森についての壁新聞を作っていると言う女の子が「森って本当に楽しかった」。そのお母さんも「子供の情操教育に役に立つ」、男性たちも「良い汗かいた」と軽やかな明るい顔でこもごも感想を述べた。同会の幹事の倉橋満知子さんが自分の主宰する“鳩川を守る会”的お仲間と「ぜんざい」を作って振舞ってくれた。途中、「若柳・嵐山の森」に立ち寄って緑のダム活動を見学して解散した。

● 各班の動き：森をつくる／FSC活動、森をいかす／FCC事業：



当会がこれに力を入れるのは、木材生産が困難というだけで森林を放置し経済性を見出す事ができないと森林を諦めかけている風潮に「待った」をかけるためだ。“エコ(環境)とエコ(経済)は本来、矛盾しない、両立できる筈だ。目先の利益に振り回されるエゴ(自己主義)が自然を破壊している”と主張する事を実践の中から見出そうとする試みでもある。森林に経済性を見い出して持続的森林経営の途を付ける。

- 1、森林整備班：これまで「協力協約の森／A・B・C地区」の間伐、枝打ちなどを進めており現在、C地区がこの3月に終了の見込み。県の森林保全課からの来年度施業の問い合わせに対し16年度計画は、林道先から尾根に上がる標高300m付近の東北斜面：樹零6等級を申し出た。測量は、4月になる見込み。
- 2、生態系班：FSC推進を進める生態系班は先ず、森林簿の内容確認をしたいと森を精査している。平行して、GPS (Global Positioning System : 全方向測位確定システム)、GIS (Geographic Information System: 地理情報システム)導入を検討している。
- 3、緑の学校班：2月も内容のある活動になったが、悩みは参加者募集がままならぬ事とて3月の運営会でアイデア募集する事とした。「環境教育事業」の創出を目指しているので何んとかして手掛かりをつかみたい。
- 4、甲州古道班：相模湖町から第2回目の道標を受注。相模湖町がわれわれを育てようとしてくれている事に感謝している。手配と制作技術も旨くなつて先が明るい。この班は、「森林エコ観光ツアー事業」の創出を目指している。JR東日本の「駅からウォーキング」との提携の可能性もある。県も観光事業の開発に力をいれている。
- 5、バイオ班：須藤仲間が取り組んでいる県の科学技術振興課との新エネルギー開発としての木質バイオマスの取組は、素晴らしい成果を上げつつある。
- 6、間伐活用班：活動日に皆に披露した松沢知事に贈った「間伐材を活用の雛人形」と同じものを鈴木重彦氏にも差し上げた。兼松仲間の優しい心を大変喜んで頂けた。
- 7、流域材班：一般生活者と共に“森から生活者へ…、自ら学び自ら建てる活動”に取り組んでいる。続々と応援団も終結し広報のためのセミナー準備を着々と進めている。
- 8、造園班：ドコモ通信塔を「グルリと回る周遊道」は、半分できて檜チップ巻いた贅沢な作り。整地で不要となった木を上手に柵として生かすその手腕にも驚く。3月21日の活動日には、この庭でお茶会を開く。森にお金を返す想い・実践のために…参加費20円。

● 広がる ネットワーク

イ、河西悦子さんの「大月・森つくりの会」に続いて、兼松まゆみさんが「鎌倉・森つくりの会」の準備を始めている。そこで、松尾さんが看板を作ってくれたのでその贈呈式をした。

- ・上流～大月・森つくりの会
- ・中流～相模湖・森つくりの会
- ・下流～鎌倉・森つくりの会

と桂川・相模川の上流から駿河湾まで点～線と繋がりかかっている。いずれ、面から県全域、全国へと広がるだろう。



表札を贈呈する作者の松尾仲間

- ロ、齊藤仲間の紹介でN P O 法人地球緑化センター(新田事務局長)に会った。意気投合して協働する事を約した。このN P O は、あの中国にも植林隊を派遣している団体。
- ハ、宇宙衛星の回路を使って自前の森林簿を作り森林の施業計画を立てている石本さん(逗子市)に会った。このシステムは、G P S (Global Positioning System : 汎測位確定システム) と言ってデジカメとセットで森林の現場状況を記録出来る。森林簿作成に活用できそうだ。
- ニ、県産材で家を建てるグループを主宰している岩藏さんも力を合わせる。
- ホ、丸茂仲間が相模湖町と組んで花一杯運動“森林の町の活性化”は、当会の「定款5」の実践である。

● その他の報告；水源環境／最終県民集会 1月24日

1、1月24日／県民センター2F講堂に於けるこの集会は、当該政策に関する県／幹部総出の熱氣あふれる集会となった。当会として以下の質問をした。

- 1)論議を進める中心が税務企画で水源環境の主管部署の林務部及びそれを助ける県土整備部の影が薄い事が「この政策が初めに税ありき」の印象を与えているが、どうか。
- 2)私有林管理者である森林組合の意志を尊重して欲しい。
- 4)県知事は、県産材木造建築物普及を掲げておられるがその対策は何か。

・平松部長の回答：「報告書は、結論でなく過程で1)～3)について参考にして十分検討を加え、更に、論議・検討を重ねる」であった。4月から県議会で論議を始めるが、ここで更に政策を練り込む事となっている。c f : 見届けるために「県議会：環境農政常任委員会」に意見書を出している。

・松沢知事の回答

- 1)～3)：個人所有者の意思を尊重し森林組合と協力して事業を進める。
県林務の組織を強化する。また、民間から管理職を入れて活性化する。
- 4) イ、公共建築物に採用することで森林に刺激を与える。
ロ、個人住宅建設希望者への特例対策を講ずる。

松沢知事ご夫妻

* 全てを納得していないが、県行政が最果て(歟)から最南(歎)まで県幹部総出の22回に及ぶ公開県民集会、しかも知事自ら8回の懇談会など開かれた県行政を高く評価したい。今回も県議会を一時、休会にして駆け付けられた県知事の誠実と熱意に県民は盛大な拍手でもって迎えた。そして、議会を待たせているからと早めに戻られる知事を県幹部共々、拍手で送った。

* 閉会後、平松部長に「開かれた県政に対し、感謝している。その気持ちを県幹部の皆さんに伝えて欲しい」とお願ひした。平松部長は、「“緑のダム”的な率直な提言を県は必要としている」と評価してくれた。当会と県行政は、真摯で友好的な関係が築かれつつある。

2、1月24日に「県の森の広場」で紹介した“間伐材活用：錦帷人形”を2月1日、ある会合で兼松仲間が知事にプレゼントした。松沢氏は、大いに喜んで「知事室に飾る」と言われた。



○ 募集：「相模原市／消費者生活展」

相模原市の市民団体が様々な活動を紹介する。昨年、これに参加して倉橋仲間らと協働活動をする事になったし、小川市長ともお近づきになっている。出し物：鋸引き体験、ベンチ予約販売、間伐材製品やパネル展。搬入は：当日9時、搬出は、14日16時から。

交通費と昼食補助費だけしか出せなくて済まないが森仲間は、手伝って欲しい。

* 3月13日～14日、於：JR橋本駅前 “はしもとサティ6F”

甲州道中小原宿の地勢

小原宿は川岸段丘下を流れる海拔百二十四メートルの相模川より、宿並二百メートルの段差七六メートルの急峻な川岸段丘崖うえ集落です。小原の宿並の字名を篠化というように、化峡を成しています。宿並北側は大久保という字地です。久保というのは、平地に水溜まりができやすい「窪地」に対して山地の斜面をいいます。従って、大久保は大規模な産地の斜面をいいます。

さらに、東部は大久保川のV字田に、西部も小手沢川の深い谷を成しています（現在は東西の深い谷は埋められています）。

このように小原宿は、南は切り立つ化峡の川岸段差崖、北は大きな斜面である久保、東西は深い谷に囲まれた地形をそのまま表現した小さな原の地勢の上に存在しています。

小原の地層である堆積岩層は、神奈川県では最も古い地層である小仏群で、広く神奈川県の基盤をなし、中世白亜期頃の海の堆積です。従って、デイ岩やサ岩から変化したネンバン岩、コウサ岩、センマイ岩などから出来ています。その上に川岸段丘層の礫岩層が存在し、更に上部が富士山の大噴火によって出来たローム層です。地表は肥沃に腐食壤土に覆われています。このような地層を基盤にした土地は、全体に南向きで日向郷といわれ、人々の生活上の好条件を有し古くから開け先住民族も生活をしていました。

この小原の地に400年前、徳川家康によって甲州衆道中が設置され、宿駅として小原宿が設けられたのは、けだし、当然です。この宿場の名残を止める町並みを保存し、伝統を継承している行われている大行列により往時の再現を計る小原本陣祭を地域住民と協力して発展して行かなければなりません。

次回から小原宿の往時の宿駅としての規模と役割、産業と人々の生活を記録して、本陣の紹介の導入としたいと思います。
(文責 中里)

- | | |
|---|--|
| 1) 3月6日(第1回) 森林整備
作業終了後、運営会 | モットー／休まず、無理せず、急がず、楽しく、ボチボチと…
そして、沢山のご意見、参加下さい。 |
| 2) 3月21日(第2回) 里山交流
作業終了後、FSC勉強会 | 名 称／さがみ湖・森つくりの会(NPO法人緑のダム北相模/森林部会)
事務局／〒154-0023 世田谷区若林3-35-9 |
| 3) 3月13～14日
消費者生活展に参加、橋本
HP : http://www.u008.upp.sp-net.jp/kitasagami | T & F 03-3411-1636
協働団体 セブン-イレブンみどりの基金 |